



発行：七里南地域日本共産党後援会

連絡先 日本共産党蓮沼事務所 見沼区蓮沼471
TEL (685)6240 FAX (747)8525
発行責任者 高橋 博 部内資料

真相解明抜きの幕引きは許さない！

裏金事件が、自民党政治の全体を根底から揺さぶる大事件に発展しています。佐川急便事件など、これまでの金権腐敗事件は、特定の政治家が企業からワイロを受け取り、政治をゆがめた事件で、自民党は疑惑の政治家を表舞台から下ろすことで乗りきってきました。しかし、今回は自民党の主要全派閥がかかわる組織的犯罪で、これまでとは違います。岸田政権は組織的犯罪の全容を覆い隠したまま、まやかしの処分を幕引きを図ろうとしています。

処分が発表された翌日の新聞各紙は、真相解明抜きの処分を批判する社説をいっせいに掲げました。「朝日」は、「政治へ

の信頼回復どころか、逆に不信に拍車をかけるものではないか」と警告。「毎日」は「中途半端な処分では不信を払拭できると考えているのだとすれば見当違いも甚だしい」として、証人喚問が必要だと主張しています。

「日経」も幕引きは許されないと指摘し、自民党に「自浄作用」を示すよう求めています。「産経」も「嘘の証言をしたら偽証罪に問われる証人喚問も検討してはどうか」と問いかけています。

国民の怒りは暮らしの困難と一体に広がっています。「真相解明抜きの幕引きは許さない！」この声と運動

自民党政治を終わらせる国民的大運動を



参議院議員 伊藤 岳

自民党の裏金問題で、大揺れの国会となっています。焦点の一つ、安倍派のキックバックについて、安倍派事務総長経験者の国会での証言が、出てくる人ごとに食い違っています。総理が、再聴取に乗り出しましたが、

いくら聞いても真相は明らかになりません。事務総長経験者に、そろって国会の証人喚問の席に座ってもらうのは、ハッキリさせるのが一番ではないでしょうか。そして、一切の企業・団体献金を禁止させて、裏金でゆがめられてきた政治を国民の手に取り戻そうではありませんか。

裏金問題と並行して、自民党青年局がからんだ不適切な会合も発覚しました。露出の多い衣装をまとったダンサーが登場し、チップを口移しで渡していたというもの。「不適切にも程がある」とは、まさにこのことではないですか。しかも、自民党県連のお金も入っていたと。原資は、政党助成金、つまりは、私たちの税金ですよ。完全にアウトです。

もう、自民党に未来はありません。自民党政治を終わらせる国民的大運動を、巻き起こそうではありませんか。
(2024年3月31日)

訃報

日本共産党の大宮市議として25歳から6期24年間、市政刷新のために尽力された高橋隆亮さんが三月三十一日ご逝去されました。生前のご活躍を忍び、心よりご冥福をお祈りいたします。



をさらに強め、証人喚問を実現し、事件の真相を明らかにさせましょう。そして、日本の政治をゆがめてきた企業団体献金を禁止し、お金で動く政治を断ち切るうではありませんか。

ガザ危機半年、即時停戦を

イスラエルがガザ地区への大規模攻撃を始めて半年、ガザでの死者が3万3千人を超え、飢餓が広がり、国際人道支援要員の被害も続く中、イスラエルと最大の支援者・アメリカは、各国からの非難にさらされ、国際的に孤立しています。



開かれた国連人権理事会は、ガザに対する封鎖と集団懲罰の中止、即時停戦と、各国からイスラエルへの武器輸出の停止を求める決議を採択しましたが、米国はこれにも反対しました。こうしたバイデン政権の対応に対し、全米では100以上の自治体で即時停戦を求める決議があがっています。日本政府も5日の人権理事会決議に棄権しました。日本は、即時停戦の実行をイスラエルとアメリカに強く迫るべきです。

仕事・暮らしの悩み、どんなことでもご相談ください
日本共産党蓮沼生活相談所

電話 (685) 6240 FAX (747) 8525

【無料生活相談日】

毎週火曜日 午後1時～4時

お急ぎのときは、

TEL (641) 1561 まで



くらし応援の予算求め、予算案に反対



市議会議員 とば めぐみ

2月議会で示された予算は「選ばれる都市、新時代へのシンカ」と銘打ち、過去最大の1兆1816億円の巨大予算ですが、コロナと物価高騰で痛み切った、市民の暮らしを支えるものではありません。

他市で行っている給食費の無償化や水道料金の引き下げ、中小企業や農業への直接支援は、検討すら行わず、2都心4副都心開発には、来年度だけで152億円も、惜しみなく計上する一方、コロナも物価高騰もおかまいなしに、国保税を8年連続で引き上げ、介護保険料も改定のたびに引き上げてきました。公共施設マネジメント計画で「約束してきた修繕」を、直前になって、現場の声も聴かずに先延ばしにしたことが、当てにしていた現場を混乱させました。「厳しい財政状況」という言葉が何度も繰り返されましたが、市役所移転や地下鉄延伸の予算はいくらでも膨らんでいるでは

ありませんか。党市議団は、大型公共事業に上限なく予算を積みあげるやり方を改め、自治体本来の役割、住民福祉の増進でくらしを支えるべきであることを主張し予算案に反対しました。が、他会派の賛成によって可決されました。



見沼用水沿いの桜

今年には開花が遅れ、入学式の時期が満開でした。



文化・芸術の力

3月31日の埼玉合唱団の演奏会。公募による「ともに歌う市民合唱団」は115人の大合唱となり、韓国の「平和の木合唱団」の友情出演もありました。埼玉合唱団の「明日のオデッセウスたち」では「眠り続ける若者たちが目覚め立ち上がり歩き始める時、それはいつ？」と歌い上げ「未来に立ち向かっていく若い人たちへの熱いメッセージ」

ジとして受け止めた」との感想も▼埼玉市民劇場の4月例会『五十四の瞳』（鄭義信作・文学座）では、史実をもとに、瀬戸内海の小さな島で、米軍占領下、朝鮮学校をめぐって国策に翻弄されながら、島の人々の摩擦と分かりあっていく姿が描かれ、こんなこともあったのか、と心に滲みました▼歌や芝居や絵画などの芸術は、何らかの形で現実の人間社会を写し取っています。人は、芸を楽しみなが

ら、その一方で新たな認識を得たり、人間というものの本質を考えたりのあります。それは社会進歩への力にもなるでしょう▼文化・芸術に触れるのは、それ自体として楽しい。公開されている映画『オッペンハイマー』も観たいし、5月には前進座恒例の歌舞伎公演が楽しみです。ただし、その一方で、財布との厳しいたたかいを乗り越えなければならぬのがつらい。(S)

4月3日（水）七里南地域で103回目のスタンディングの予定でしたが、雨脚が強くなり、残念でしたが中止しました。国会前では澤地久枝さんを始め子どもから高齢者まで150人が参加したそうです。日本のどこかで「9条守ろう」の声が上がっていることは大変心強く感じます。

平和をめぐって自民党は、次期戦闘機など殺傷武器の解禁にまでおよびました。戦争への準備をやめさせるため、地域から、こうした動きへの反対の声をこれからも上げていきましょう。

次回は、5月3日（金・祝）午後1時から10分間、大谷・元野州ソバ屋前の路上（思い出の里市営霊園入り口方面付近）です。ぜひ、ご参加下さい。一緒に声をあげましょう！

5月3日は憲法記念日、施行された日です。「平和への願い」と題する一文を掲載します。七里南地域に在住の読者の方が以前「参考になれば」と寄せて下さったものです。じっくりと読んでみて下さい。

平和への願い

ろくにさん 六二二
はちろくはちきゅう 八六八九
ごさん つな 五三に繋げ
はちいちご 八一五
我ら今生く

朝日花壇賞を受けた西野防人さんの一首です。八六、八九、八一五は広島、長崎の原爆投下と終戦記念日。六二二は広く浸透していませんが、沖縄戦終結の日、五三は不戦の誓いが民主主義へとつながった日本国憲法施行の日です。

国同士の戦いは今も続き、悲惨な状況が続いており、世界は全く平和とは言えません。世界は無限に近く多種多様です。自分のこと、自国のことのみでなく、お互い理解し合い、尊重し合い、歩み寄って争いを回避してほしい。平和は難しく、不断の努力なくしては実現できません。

（この一文はある会報に数年前に掲載したものの一部です。 K）